令和６年度(2024年度)

事 業 報 告 書

自　令和６年(2024年)４月　１日
至　令和７年(2025年)３月３１日

公益社団法人城陽市シルバー人材センター

令和６年度(2024 年度)事業報告

＜はじめに＞

昨今の食材料費・光熱費をはじめとする物価高騰や、３０年ぶりの高水準となる賃上げの状況などといった経済社会情勢はサービス提供や人材確保にも大きな影響を与えております。また、労働力人口の減少等により人手不足分野や現役世代を支える分野での担い手不足が問題となる中、令和６年度は会員増強を通じた就労支援及び普及啓発等を重点に取り組みました。なかでも高齢者人口の男女割合等からみて拡大の余地が大きい女性会員の確保や会員だけでは対応できない仕事は、求人情報紙「急募！チラシ」を地域へ配布するとともに、会員１人一声加入運動を実施するなど会員増強活動及び新たな就業の場を創出することに努めました。

事業実績につきましては、全ての派遣労働会員に対する教育訓練（研修・講習）を実施し、シルバー派遣事業（労働者派遣事業）の推進と拡大に向けて積極的に取り組んだ結果、コロナ禍前の水準以上であった前年度を１，５９４千円（０．７％）上回ることとなりました。また、会員の状況は、高年齢者の生きがいの充実、社会参加を図るための各種ボランティアや普及啓発活動等、そして５年ぶりの実施となった会員親睦旅行では親睦と連帯を深めるなど、組織運営の円滑化、強化を図りましたが、会員の高齢化が進展するとともに、病気等による退会者が多くなり、僅かながら減少することとなりました。

令和６年度は、「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律（フリーランス新法)」が施行され、センターに課せられる規制等が生じるなど、厳しい運営環境ではありましたが、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」の精神のもと、会員の責任のある仕事の遂行や城陽市、関係機関及び市民の皆様方の温かいご支援とご協力をいただき、業務を遂行することができました。

＜事業実施状況＞

１　就業機会の確保及び提供事業

（１）受託事業

①　正会員数

令和７年３月３１日現在の会員数は４８０人で、前年度に比べて３人の減少（入会６０人、退会６３人）となりました。

なお、男性は３６５人（７６．０％)、女性は１１５人（２４．０％）

で、平均年齢は、男性７６．６歳、女性７４．０歳、全体で７６．０歳となり、年々会員の高齢化が進んでいます。

② 地域貢献件数（受注件数）

令和６年度の地域貢献件数は１，２４８件で、前年度に比べて３７件（２．９％）の減少となりました。

この地域貢献件数の発注元別の状況は、公共事業が１５０件（前年度比３件、２％の減）、民間事業（事業所及び個人・家庭）が１，０９８件（同３４件、３．０％の減）となりました。

③ 地域貢献金額（契約金額）

令和６年度の地域貢献金額は２０４，４０８千円で、前年度に比べて２７５千円（０．１％）の減額となりました。

この地域貢献金額の発注元別の状況は、公共事業が８８，５４２千円（前年度比１，０７４千円、１．２％の減）、民間事業（事業所及び個人・家庭）が１１５，８６６千円（同７９９千円、０．７％の増）となりました。

減額の主な要因は、公共事業において、市有地除草等業務の対象面積の縮小による影響などでありましたが、厳しい運営環境のなかで、地域貢献金額に実績をあげることができましたのは、会員が地域に根ざした責任ある仕事の遂行に加え、企業及び市民の皆様方のご理解とご協力の賜物であります。

④ 就業状況

令和６年度の就業実人員は４１８人（前年度比８人、１．９％の減）、就業率は８７．１％（同１．１ﾎﾟｲﾝﾄの減）で、就業延人員は６４，７６８人日（同５８３人日、０．９％の減）となりました。

（２）会員増強を通じた就労支援及び普及啓発事業

① 【会員拡大強化月間】（第１回：６月１日～６月３０日まで、第２回：１１月１日～１１月３０日まで）と定め、会員１人一声加入運動の実施（新入会１３名）や、女性活躍促進に向けた会員募集等の啓発チラシを配布し、２４名の新入会がありました。（第１回：市内全世帯各戸配布３４，１１８枚、第２回：市内全世帯各戸配布３３，２８２枚、第３回：市内２４ブロック１２，０００枚）

② 会員増強を図るため、高齢者活躍人材確保育成事業（広告事業）を活用し、城陽市発行の広報「じょうよう」に令和６年４月～令和７年３月まで（１日号の計１２回）、会員募集！等の当センターに関する有料広告

を掲載しました。（新入会７名）

また、当該事業（セミナー事業）では、１１月１４日、文化パルク城陽・ふれあいホールにて「清水寺貫主 森　清範 講演会」を開催しました。８１名の参加で、センター入会説明会を行うなど、６０歳以上の市民・会員に普及啓発することが出来ました。

③　随時の入会説明及びシルバー人材センター入会のご案内 DVD を活用し、毎月定例の合同入会説明会（計２４回・参加者９１名）を行いました。

④　会員だけでは対応できない仕事は、求人情報紙「急募！チラシ」を地域へ配布し、会員の増強に努めました。（水主地域：１，０００枚、寺田・水主地域：２，０００枚、久世・富野・枇杷庄地域：２，０００枚）

⑤　会報「シルバーウェーブ」（７月・１月）を発行しました。

⑥　城陽市発行の広報「じょうよう」に事業案内等を掲載しました。

⑦　城陽市の公用封筒裏面や、城陽市高齢者クラブ連合会機関紙「微笑」及び洛タイ新報に普及啓発の広告を掲載しました。

（３）就業機会の開拓と確保提供事業

①　女性活躍促進に向けた普及啓発チラシ（就業開拓）を６月２日～６月７日までに、３３，２８２枚を市内全世帯各戸へ配布し、就業機会の確保に努めました。

②　【就業開拓強化月間】（第１回：７月１日～７月３１日まで、第２回：１２月１日～１２月３１日まで）と定め、就業開拓（シルバー派遣事業や就労に関する情報）の啓発チラシを配布するなど、就業開拓運動を実施しました。（第１回：市内２４ブロック１２，０００枚）

③　就業開拓委員会委員が中心となって、８月１９日～９月１３日までに、企業等への就業開拓３８事業所等へ直接訪問し発注依頼を行い、就業機会の開拓に努めました。

④　就業開拓委員会委員が中心となって、１２月９日～１２月１８日までに、継続受注先（発注者）３５事業所等へ直接訪問し、就業のお礼と新たな発注依頼も行い、就業機会の開拓に努めました。また、表敬訪問と併せて満足度調査を実施しました。

⑤　個人・家庭、行政への発注依頼を行い、就業の開拓に努めました。

⑥　当センターのホームページにより、庭の除草やチラシ配布等の発注があり、会員の就業に繋がりました。

（４）安全・適正就業対策

①　安全管理委員会委員が中心となって、就業中や就業途上の事故防止と安全意識の高揚に努めました。

②　高年齢者の健康状態や体力等を考慮した安全・適正就業として、特に夏場の屋外作業での就業時間の制限等を個別に指導しました。

③　７月１６日～７月１８日、作業現場（草刈及び集草、古墳管理、マンション清掃）で安全就業パトロールを実施しました。また、傷害事故発生現場（産業会館）の検証も行い、事故再発防止に努めました。

④　７月２２日、安全・適正就業強化月間（７月）に合わせ、公益社団法人京都府シルバー人材センター連合会安全・適正就業委員会主催の「安全・適正就業推進大会」に参加し、安全就業の推進に努めました。

⑤　９月１３日に、高年齢者の防犯・交通安全教室（参加者１６名）を開催しました。

⑥　会報「シルバーウェーブ（2024.7　安全・適正就業強化月間号）（2025.1 新春号）」にて、ご応募いただいた「安全・適正就業に関する標語」を掲載し、安全意識の高揚に努めました。

（５）福祉・家事援助サービス事業

①　家事援助サービス提供体制の充実に努めました。

②　サポートが必要な高年齢者や障がい者等の自立した生活を支援するためのサービスの提供に努めました。

　福祉・家事援助サービス事業の受注件数は１４３件で、就業延人員２，６２６人日、受注額は３，８２１千円となりました。

（６）高年齢者の健康に関する各種事業

①　６月２２日に第１２回親睦グラウンドゴルフ大会（参加者３８名）を実施しました。

②　９月３日に、高年齢者の健康に関する事業「〝骨・カルシウム〟セミナー」（参加者２３名）を開催しました。

③　１０月１日に、高年齢者のための運動教室「enjoy！フレイル予防講座」（参加者１３名）を開催しました。

（７）空き家等対策事業

①　空き家等の適正な管理を推進し、安全に安心して暮らせるまちづくりに寄与することを目的に、空き家となった家屋等の見回り点検や庭の草引き・植木の枝切り及び処分・波板屋根の修理など、各種サービスを行いました。

　当該事業の受注件数は３８件で、就業延人員は６２人日、受注額は３

４０千円となりました。

２　職業紹介事業・労働者派遣事業による就業機会の確保及び提供事業

（１）職業紹介事業

実績はありませんでした。

（２）労働者派遣事業

令和６年度の派遣労働実人員は２６人（前年度比３人の減）、契約件数は３０件（同２件の増）で延３，７５０人日（同１８０人日の増）を派遣し、契約金額は２１，９８０千円（同１，８６９千円の増）となりました。

また、派遣労働会員に対する教育訓練（研修・講習）及び当該会員の意向に沿ったキャリア・コンサルティングを実施しました。

３　就業のための知識及び技能取得講習等事業

①　１０月７日に、福祉・家事援助サービス講習（〝楽してキレイに　お掃除のコツ・ポイント〟セミナー　受講者８名）を開催しました。

②　１２月１２日に、人権研修（「ジブリで考える人権」～アイデンティティの視点から～　受講者２９名）を開催しました。

③　３月２８日に、緑地管理講習会(植木剪定・座学　受講者２１名)を開催しました。

４　その他高年齢者の就業に関し必要な事業

①　令和６年度シルバー人材センター事業普及啓発促進月間「シルバーの日（１０月の第３土曜日）」である１０月１９日（土）に会員及び役職員３３名の参加で、鴻の巣会館前からＪＲ城陽駅前広場及び周辺道路において、清掃ボランティア活動を行いました。

②　当センターと城陽市及び京都府山城広域振興局との間で「山城ふるさとを守る絆ネット推進事業（見守り）」における「山城ふるさとを守る活動に関する協定」を締結、当センターでは「地域見守りボランティア活動」として、会員が広報紙等の全世帯各戸配布業務中に市内の全世帯及び事業所の日常生活で何らかの異変等を察知した場合、当センター事務局等へ連絡（通報）していただく活動をしており、令和７年３月末現在のところ、連絡（通報）はありませんでした。

５　福利厚生事業（共益事業）

①　５月１８日に、５年ぶりとなる日帰りの会員親睦旅行（兵庫県　淡路島の旅　参加者３５名）を実施しました。

②　会員の生きがいづくりを促進するため、各種サークル活動の自主的な運営に側面的な支援をしました。

６　その他、目的達成のための必要事業

（１）定時総会

定款の定めにより、定時総会を令和６年６月７日に開催し、事業運営上の議案を審議しました。

（２）理事会

理事会を年５回開催し、事業実施に関する議案を協議・決定しました。

（３）三役会

三役会を年５回開催し、理事会への審議等の提案事項を決定しました。

（４）各種委員会の開催

①　安全管理委員会を年５回開催し、会員の安全・適正就業について検討しました。

②　福利厚生委員会を年３回開催し、会員の福利厚生及び知識向上について検討しました。

③　就業開拓委員会を年５回開催し、会員の就業機会拡大の方策等の検討や取引の継続を依頼するため、既存取引事業所へ表敬訪問しました。

（５）地域班活動事業

①　正・副地域班長会議を年３回開催し、会員相互の連携意識の高揚と親睦を深める事業等について検討しました。

②　各種事業への積極的な参加を班会員に呼びかけました。

③　地域班「女性の会」発足によりレクリエーション等親睦活動を推進し、地域班活動並びにセンター事業の機能強化に努めました。

④　会員に講習会の案内や会報「シルバーウェーブ」の配付を行いました。

（６）健全な財政運営の推進

シルバー人材センター事業運営の財源である国及び京都府の補助金の運営費補助の一部が事業費補助に組み替えられ、国の事業費補助金を高齢者活用・現役世代雇用サポート事業（人手不足等分野の業務）として措置されたシルバー派遣事業を積極的に推進し、就業先の開拓や事業の効率的・効果的な実施及び事務経費の見直しを行い、財政の健全化に努めました。

（７）拠点シルバー人材センターの連携

山城地域拠点シルバー人材センター理事長・事務局長等連絡会及び事務局職員会議で、各拠点シルバー人材センター運営の向上を図るため、共通課題の検討及び情報交換をしました。

（８）事務局体制の充実

事務の効率化の推進に向けて、また、事業実施に必要な資格・免許取得のための研修会に積極的に参加し、研鑽に努めました。

附　属　明　細　書

事業報告に関する附属明細書に記載すべき重要な事項がないため、省略している。